

## ガバナーメッセージ

# 11月は『ロータリー財団月間』及び 『世界インターアクト週間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー **小倉 正**



新型コロナウイルスの感染拡大により、神奈川県も2度の緊急事態宣言の延長により、7月末から9月30日まで26クラブの通常の公式訪問が中止されましたが、10月に入り緊急事態宣言が解除され、10月末までに15クラブの公式訪問が実現いたしました。

通常の公式訪問に代わる各クラブの会長・幹事さんとの面談もそれなりに有意義ではありましたが、やはり会員の皆様と直接お目にかかる公式訪問の良さを実感いたしました。その際改めて当年度のガバナーメッセージで申し述べさせていただいております「会員の減少を食い止め、いかに増加に転じる事ができるか」についての各クラブの取り組みを伺い、その重要性への認識を共有させていただきました。幸いな事に各クラブの会員増強への取り組みの結果、このコロナ禍においても今年度スタート時の7月1日(会員総数1,880名)より会員数は増加に転じております(9月末現在1,887名)。

さて、いよいよ今月末、11月26日・27日に地区大会を大会テーマ：第2590地区の更なる発展を！～日本のロータリーの新たな100年の始まりの年にあたり～としてパシフィコ横浜会議センターで開催いたします。

当初会場参加は少人数だと考えていましたが、コロナの感染状況の改善により、通常の会場参加型の開催に切り替え、皆で一堂に会し、会員の皆様のロータリーへの参加の意欲を高め、会員同士の親睦を深める機会となります様、準備を進めております。会員の皆様の参加をお待ち申し上げます。

おります。

さて、今月のロータリー特別月間(Special Month in Rotary)は『ロータリー財団月間』です。

ロータリー財団は、皆様からの寄付を運用、配分し、ロータリークラブおよび地区が実施する、承認された人道的および教育的活動を支援しています。「世界でよいことをしよう」という標語のもとに、ロータリアンが人びとの健康状態を改善し、教育への支援を高め、環境保全に取り組み貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするための活動を行っており、地区はロータリー財団補助金のより良い活用に入力していますので、会員の皆様のロータリー財団への更なるご理解・ご支援をお願い致します。

又、11月5日を含む1週間は『世界インターアクト週間』です。ロータリーの奉仕部門の一つである「青少年奉仕」は、若い人々に対して、未来に向かって成長の手助けになるような基本的ニーズを支援する事であり、インターアクトは、国際ロータリーの常設プログラムです。当地区には18のインターアクトクラブがあり、未だコロナ禍にあっても、今年度はできる活動、交流をしようと計画中です。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染者の急減により、通常の日常生活が戻りつつありますが、ロータリー活動の一日も早い正常化を祈念し、地区大会において会員の皆様とお会いできることを楽しみにしております。